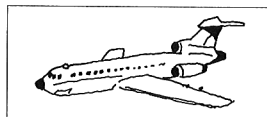


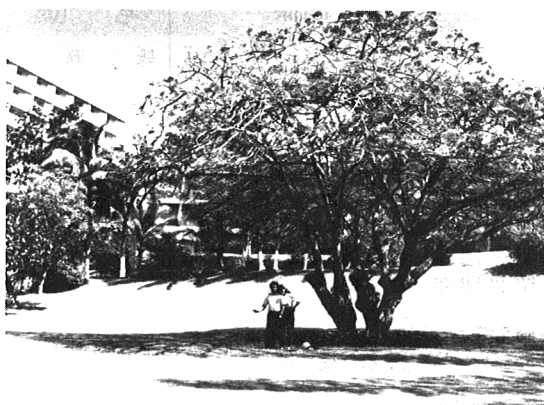
初めての海外旅行



海外旅行と言うとちょっとおおげさに聞こえますが、私は、正確には私達2人は日本を機上から見る事ができたのです。旅行先は、との質問に「カッコ良く」ヨーロッパとかアメリカ西海岸とか答えたのですが、アメリカには違いないがグアム島なのです。もっとも私達にとって初めての海外旅行でしたので、ヨーロッパ、アメリカ本土へ行くことと変わりありませんでした。ちなみに、これから新婚旅行を計画されている方達がおられましたら、ぜひグアムへ。なぜなら、費用が安く、またとっても近いところですから。もっとも私にとっては、前者の方が大きなメリットでした。

成田に1泊し、翌日、コンチネンタル航空で午前11時の出発でした。とは簡単に言っていますが、初めての渡行手続き、何をどうして良いか分からず本人達は心配そのものでした。実際の手続きは至って簡単でしたが…。3時間後グアムへ到着。第一印象は暑いと言うことでした。成田を出発する時は寒かった(12月3日)のですが、当地は常夏なのです。あたりまえですがこんなに暑いとは思いませんでした。もっとも私達を含め、左を見ても右を見ても日本人、それも新婚さんばかりですから、輪をかけて暑いのは当然かもしれません。入国手続で長い行列をつくり、やっと入国完了後、ツアー会社の現地案内人が出口で待っていました。日本語を上手に話す現地の人でした。その日はホテルに直行し、翌日の島内観光にそなえました。ホテルは浜辺のすぐ近くにあり、景色のとても良いところでした。出発前にちょっと心配していた言葉の問題についても、すぐに解消されました。グアムは日本人向け観光地と言って良いほど日本語が通じるのです。ホテル内はもちろんのこと島内の観光地どこでも、商店の人達の方から流ちょうな日本語で言葉巧みに話しかけてくるのです。分らない英語

ホテルの庭園にて



(単語)を使うより日本語の方が通じました。会話でちょっとした出来ごとがありました。それは、国際電話をホテルへ申し込んで受話器をとり、左手にやさしい会話例の本を持っていざその通りに話そうとしたのです。彼女の前でカッコ良く話そう(朗読)と思っていたところ、こちらが日本人と分ると、「どちらへおかけになりますか」と、何と日本語で話しかけるではないですか。つい「日本の〇〇〇番をお願いします」と日本語で応えてしまいました。カッコ良いどころではありませんでした。

グアムで驚いたことがもう一つありました。それはスクールバスについてです。スクールバスが子供達の乗降のために停車すると、何と左右の車が一齐に停車して子供達の安全を守るのです。そしてそのバスが発進するまで、回りの車は動かないのです。違反すると罪は重いそうですが、日本でもそれに近いルールはあるにしてもそれほど徹底してはいないような気がします。また、グアムでは車の車検があっても厳しくないようで、ボンネットをひもで縛って走行している車などがたくさんありました。話によると、それでも近ごろは、日本の自動車会社2社が当地で華々しいセールス合戦を展開し、新車に乗る人が増えて良くなったとのこと。日本の海外輸出の一端を見たような気がしました。

これから海外旅行へ初めて行かれる人のために、おすすめ品を二つほど紹介いたします。それはうめぼしとカップヌードルです。もっとも現地にも売っているようですが。短い旅行ですらこれを持って行って良かったと思ったほどですから。そう言うことで4泊5日のグアム旅行も終り、無事日本へ帰国できたのです。

(統計課・藤田 昇)

コバルトブルーの海の色に心洗われる思い



【新着資料案内】 【新着資料案内】

この資料は、昭和60年1月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。
行政資料室 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2668)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係		昭和58年度 老人等医療費支給制度事業状況	医療福祉課
一 社会・人口統計体系一	総務庁	昭和58年度 国民健康保険事業状況	医務課
社会生活統計指標		昭和58年度 衛生行政の概要	水道計画課
統計でみる県のすがた	〃	茨城県の水	水道計画課
昭和58年 住宅統計調査報告	〃	定年制度実態調査	労政課
第3巻 都道府県編 13県分	〃	中小企業の賃金事情	〃
昭和58年度 国際統計年報	大蔵省	昭和58年度 茨城県蚕業試験場年報	蚕業試験場
昭和59年度 財政統計	〃	茨城県蚕業試験場報告	〃
関東の畜産統計(昭和59年)	農林水産省	茨城県内水面水産試験場調査研究報告 第21号	内水面水産試験場
昭和58年 水産物流通統計年報	〃	土地分類基本調査 玉造(5万分の1)	農地計画課
昭和58年 食肉流通統計	〃	茨城県議会資料 No.182	議会事務局
昭和58年産 米及び麦類の生産費	〃	生涯学習ガイドブック 一施設編一	教育庁社会教育課
昭和58年 石油等消費構造集計速報	通商産業省	都道府県関係	
(商鉱工業)	〃	福島県勢要覧 1984	福島県統計調査課
(商鉱工業数値表)	〃	群馬県の工業	群馬県統計課
昭和58年 本邦鉱業の趨勢	〃	埼玉県統計年鑑 昭和59年	埼玉県統計課
昭和58年度 郵政統計年報 保険年金編	郵政省	昭和59年度 学校基本調査報告	東京都人口統計課
昭和58年度 郵政統計年報	〃	1984 県勢要覧	岐阜県統計課
昭和59年度版 道路経済要覧	建設省	統計からみた広島県勢	広島県情報統計課
地方財政要覧	自治省	昭和57年度 香川県の県民所得	香川県統計調査課
地方公務員給与の実態	〃	昭和58年 佐賀県の工業	佐賀県統計課
		昭和58年 大分県統計年鑑	大分県統計課
茨城県関係	広報課	県民経済計算年報 57年度版	鹿儿島県情報統計課
県民の声 昭和58年度 広聴の記録	消防防災課	公社・会社・団体等関係	
茨城県石油コンビナート等防災計画	〃	データでみるいばらき 60年版	(財)常陽産業開発センター
(昭和59年11月)	〃	産業連関表に関する	産業連関表に関する
付属資料 規程編	〃	アジア太平洋統計家会議概要報告	アジア太平洋統計家
事業所要覧	統計課	昭和59年版 公共施設状況調	会議券金委員会
茨城県の人口(年齢別)	鹿島開発課	1985 世界各国要覧	(財)地方財務協会
昭和60年1月1日現在			(株)二宮書店
鹿島開発公共事業実績書(57~59年度)			

茨城県統計協会からのお知らせ

— 新刊統計書 予約受付中! —

茨城県統計協会では、現在、下記の昭和59年(版)統計刊行物の予約を受け付けております。
職場に、家庭に、あるいは教材にぜひ一冊お備えください。

昭和59年 茨城県統計年鑑

茨城県の全貌を網羅した唯一の総合統計書

- ◆規格 B5判 クロス張 約360ページ
- ◆頒価 5,500円

昭和59年版 茨城県勢要覧

県勢の概要を統計でみる資料豊富なコンパクト統計書

- ◆規格 B6判 約180ページ
- ◆頒価 570円

茨城県のすがた'85

一目でわかる茨城のカラー全県地図、主要統計グラフ他

- ◆規格 B2判 16折(仕上りB6判)
- ◆頒価 310円

昭和56年 茨城県事業所名鑑

(部数限定)

増刊号。県内全市町村の27,000事業所を収録(従業員10人以上)

- ◆規格 B5判 約400ページ
- ◆頒価 2,500円

申込方法

別途配布しております申込書により、下記にお申し込みください。

- 各市役所、各市町村役場の統計係
- 茨城県統計協会

〒310 水戸市三の丸1-5-38、茨城県企画部統計課内
(電話) 代表 0292-21-8111(内線)2651
直通 0292-21-5505

詳細については、お気軽に協会にお問い合わせください。

—— お申し込みはお早めに! ——

経 済 動 向

国内の動き

●労働分配率5年ぶりダウン

雇用者への所得の分配(労働分配率)が第二次石油危機以来、5年ぶりに低下傾向を強めている。経済企画庁経済研究所によると、名目GNPに占める雇用者所得の割合は59年度上期が55.5%で、58年度平均の56.1%を下回った。景気が拡大局面に入ると、売り上げ増などで法人所得(企業

の営業余剰)の伸びが大きく、その分雇用者所得の伸びが小さくなることが多い。このため「労働分配率の面からも国内景気の本格回復を裏付けている」と経済企画庁はみている。(日経 1月22日付)

●統計局を行政版INSの核に

総務庁は高度情報社会に向けて、同庁の統計局を政府の「データベース・センター」とし、各省庁の行政情報を一括して保管、提供する体制を確立する構想を固めた。行政情報に関する事務を効率化し、行政情報の各省庁間相互利用を促進するのがねらい。現在、政府は内閣官房を中心に60

年度から首相官邸、各省庁を結ぶ「行政版INS(高度情報通信システム)」構想を検討する方針を固めているが、総務庁では統計局を、このINSで伝達される行政情報を収集、蓄積するいわば「図書館」にし、情報交換の窓口とする考えだ。(日経 1月15日付)

県内の動き

■経 済

●県内経済緩やかな拡大基調

県内の経済情勢は、中小企業間の実績にばらつきがあるものの、全体としては緩やかな拡大基調をたどっている。大蔵省関東財務局水戸財務事務所は、最近の県内経済情勢をまとめた。それによると、対米輸出の好調と物価安定を背景に工業生産率の増加や個人消費の回復などがみられ、

全体として着実な拡大基調をたどる一方、建設業を中心とした企業倒産が続き、依然、業種間業績にばらつきが出ている。このほか、科学万博の関係で会場内の求人が増し、非製造業の雇用情勢に好影響を与えた。(いはらき 1月24日付)

■産 業

●カーフェリー一就航に伴い市場拡大の好機

3月16日の大洗港と北海道間のカーフェリー一就航に伴い、北海道向けに野菜を中心とする農産物の市場拡大が、大きくクローズアップされている。同港が、これまでの水産基地から脱却し、農水産物を中心とする流通基地的機能を有するものと位置付けられており、今後、産地間競争が隣県ばかりでなく北海道も加えて激化が予想されるなか、北海

道向けの出荷体制の見直しが迫られているわけだ。県の指定、補助を受けた県内25市町村では、野菜産地の育成と計画的な出荷体制の確立を目的にそれぞれ「野菜生産出荷対策議会」を設立して、北海道市場への販路拡大を検討している。(常陽 1月21日付)

■その他

●科学万博 家族連れでにぎわいそう

3月17日から筑波研究学園都市で開かれる国際科学技術博覧会への関心は、開催日が近づくとつれ急速に盛り上がり、首都圏では、7割以上の人が行きたいと希望を持っている。日本消費経済研究所が行った電話調査(16歳以上男女2,023人)で明らかになったもので、科学博を「ぜひ、あ

るいは、できれば見に行きたい」とする人は、男性41%、女性29%で、10代が42%、30代が37%であり、60歳以上では24%となっている。また、小中学生のいる家庭では41%でそれ以外と比べると10ポイントも高く、科学博は幅広い年齢層から関心を集め、小中学生を連れた家族連れが多くなりそうだ。(日経 1月28日付)